

後援・協賛・協力イベントのお知らせ

1. 自治体総合フェア2023 (第27回)

主催：一般社団法人日本経営協会
日程：2023年5月17日～19日
会場：東京ビッグサイト 西3ホール

2. 第27回サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム

主催：サイバー犯罪に関する白浜シンポジウム
実行委員会
日程：2023年5月25日～27日
会場：メイン会場：
和歌山県立情報交流センター「Big・U」
サブ会場：ホテルシーモア

3. ワイヤレスジャパン2023

ワイヤレス・テクノロジー・パーク (WTP)2023

主催：株式会社リックテレコム
日程：2023年5月24日～26日
【オンデマンド配信】2023年6月5日～19日
会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール

JNSA部会・WG活動内容

1. 社会活動部会

部長：丸山司郎 氏／株式会社FFRIセキュリティ
副部長：唐沢勇輔 氏／Japan Digital Design 株式会社

社会問題となったサイバーセキュリティリスクに対して、JNSAが共助組織として貢献していくため、社会活動部会は時事問題に対するタイムリーな情報発信や勉強会の開催、政府機関や関係団体とのパイプ役となったセキュリティ政策の促進などの従来からの活動を継続していく。

また、新たな取り組みとして、産学の連携強化のための協議会の推進を行う。

【海外市場開拓WG】

(リーダー：松本照吾 氏／
アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社)

昨年度の活動を継続し、Made-in-Japanのセキュリティソリューションの海外展開・拡販を業界団体として促進する。

また、海外の業界団体とのコミュニケーションを踏まえたマッチングなどを支援するとともに展示会によらず海外展開を促進できるようなチャネル情報の共有を行う。

<予定成果物>

- イベント出展等

【CISO支援WG】

(リーダー：高橋正和 氏／
株式会社Preferred Networks)

経営陣の一員としての活躍が期待されているCISO業務についての、フレームワークを提案し、公表資料作成、出版、セミナーなどで発表する。

<予定成果物>

- 書籍出版を予定

【JNSA CERC】

(リーダー：高橋正和 氏／
株式会社Preferred Networks)

緊急時の情報交換のプラットフォームとして活動する。

【中小企業支援施策WG】

(リーダー: 岩本真人 氏 / トレンドマイクロ株式会社)

関係支援機関/支援者との協働による中小企業の情報セキュリティ対策導入を促進する官民による支援施策の検討とその実践、中小企業の情報セキュリティ市場の拡大を捉えたJNSA会員のソリューション展開への寄与を目的として会合を開催する。

<予定成果物>

- 支中小企業の情報セキュリティ対策導入を促進する官民による支援施策の検討に基づく成果物(支援施策コンテンツ、報告書など)

【みんなの「サイバーセキュリティコミック」実行委員会】

(実行委員長: 本川祐治 氏 / 株式会社日立システムズ)

セキュリティ知識の普及とネットリテラシーの向上、ネットを守るハッカーへの興味とイメージアップ、セキュリティ人材育成を促進することを目的として「サイバーセキュリティ」をテーマとしたコミックを8本制作し、JNSAのTwitterで広く発信する。

大島悠先生に原作を依頼、花園みずき先生に作画を依頼し、コミック発信は(株)角川アスキー総合研究所、(株)KADOKAWAに協力いただく。

<予定成果物>

- twitterによるSNSコミックを配信

2. 調査研究部会

部会長: 前田典彦 氏 / 株式会社FFRIセキュリティ

情報セキュリティにおける各種の調査および研究活動を行う。

セキュリティ被害、情報セキュリティ市場などの統計分析事業、および、重要度や緊急度の高いテーマに関する脅威分析、対策研究を推進する。適切な時期、形式を用いて適宜情報公開を行い、調査研究における成果を広く社会に還元する。新規性や緊急性の高いテーマの検討が必要となる場合においては、勉強会、BoFなどを随時行うなどして、柔軟かつ迅速な対応を行う。

【セキュリティ市場調査WG】

(リーダー: 磯部良輔 氏 / 興安計装株式会社)

サブリーダー: 玉川博之 氏 / Modis株式会社)

国内で情報セキュリティに関するツール、サービス等の提供を事業として行っている事業者を対象として、推

定市場規模データを算出し報告書として公開する。

また、近年のセキュリティ市場拡大の伴う、市場調査の調査内容、セキュリティ区分の見直しを継続して実施予定。

<予定成果物>

- 2021年度情報セキュリティ市場(国内)調査報告書

【組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応WG】

(リーダー: 甘利康文 氏 / セコム株式会社)

(1)人の意識や組織文化、(2)組織の行動が影響を受ける社会文化や規範、(3)不正・事故を防ぐシステム、これらの3方向から「組織で働く人間が引き起こす不正・事故」に対する考察を深め、ベストプラクティスの紹介、提案、啓発を行うことを目的とする。

2022年度も引き続き、特に(1)に重点をおいた活動を行う。

また、コロナ禍で日常になったテレワーク環境下における取組も積極的に聞き出したい。

<予定成果物>

- 組織文化醸成によるES向上」に向けた各組織の取組事例ヒアリング調査と、調査内容をベースとしたWeb記事の公開。
- JNSA Pressへの寄稿、セミナー等への積極的出講による啓発活動の展開。

【インシデント被害調査WG】

(リーダー: 神山太郎 氏 /

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

サブリーダー: 西浦真一氏 /

キャノンITソリューションズ株式会社)

サイバーインシデント被害者に発生しうる、金銭的負担項目とその被害額を調査・算定し、成果物としてまとめる。

<予定成果物>

- 報告書: 「インシデント損害額調査レポート2022」

【IoTセキュリティWG】

(リーダー: 松岡正人 氏 / 日本シノプシス合同会社)

IoTセキュリティに関連する調査研究を継続する。

【脅威を持続的に研究するWG】

(リーダー: 甲斐根功 氏 / 株式会社日立システムズ)

サイバーセキュリティを取巻く環境の変化に応じ顧

客ニーズや課題を捉え直し、国内外における新たなビジネスアプローチやマーケットの構図の変化を調査し、国内イベント等を介して、広く情報発信する。

【AIセキュリティWG】

(リーダー: 福井 将樹 氏)

エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社)

サイバーセキュリティを取巻く環境の変化に応じ顧客ニーズや課題を捉え直し、国内外における新たなビジネスアプローチやマーケットの構図の変化を調査し、国内イベント等を介して、広く情報発信する。

3. 標準化部会

部会長: 中尾康二 氏

国立研究開発法人情報通信研究機構

副部会長: 松本泰 氏 / セコム株式会社

業種・業界・分野等の標準化・ガイドライン化などを推進する。

特に、JNSA目線のセキュリティベースラインの提供、情報セキュリティ対策ガイドラインの策定などを進める。また、国際標準/国際連携との親和性の高い案件については、国際標準への提案やコメント、国際連携案件も視野に入れて、議論を進める。さらに、近年のデジタル化促進にともなる技術要素についても積極的に取り上げ、標準化部会での技術共有や課題抽出を実施していく。

【デジタルアイデンティティWG】

(リーダー: 宮川晃一 氏 / 日本電気株式会社)

広くデジタルアイデンティティに関する様々な課題を検討し、デジタル社会の基礎となるIDの重要性の啓蒙やプライバシー関連の問題提起や標準化に向けた意見交換を行う。

<予定成果物>

- 特権ID解説書の改定
- デジタルアイデンティティのセルフラーニング用のコンテンツを順次作成予定 (Youtube動画など新しいコンテンツの形を検討する。)

【電子署名WG】

(リーダー: 宮崎一哉 氏 / 三菱電機株式会社)

電子署名関連技術の相互運用性確保のための調

査、検討、標準仕様提案、相互運用性テスト、及び電子署名普及啓発を行う。

<予定成果物>

- 長期署名プロファイル標準の改定案
- 署名検証プロセス及び署名検証レポートに関する標準仕様案
- 電子署名保証レベルに関する報告書

【日本ISMSユーザグループ】

(リーダー: 魚脇雅晴 氏)

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社)

ISMS認証取得企業(ユーザ)とISMSの専門家が連携し、意見交換・議論を進めることでISMSの構築・運用に関わるユーザ視点でのベストプラクティスを提供し、日本における健全かつ効果的なISMS普及・促進に貢献する活動を行う。

<予定成果物>

必要に応じて、成果物として以下に関連するものをまとめ、公開する。

- ISO/IEC27002の改定内容の取り込みをユーザ視点で検討&整理
- ISMSの実装&運用についての事例研究 (選定した2テーマ)
- 情報セキュリティマネジメントセミナーでの研究成果発表、講演資料公開

【PKI相互運用技術WG】

(リーダー: 松本泰 氏 / セコム株式会社)

デジタル社会におけるPKIの重要性をアピールしていく。

<予定成果物>

- セミナーイベント「PKI day」の開催
- 鍵管理勉強会などでの発表

4. 教育部会

部会長: 平山敏弘 氏 / 学校法人電子学園

社会のニーズや時代の変化に適合したセキュリティ人材育成のため、必要とされる知識・技能等の検討を行い、実際に大学や専門学校等で評価実験を行う。また、情報セキュリティ教育のコンテンツとして、講義シラバスや講義資料およびSecBoK2021年英語版の作成・公開を通じて、教育界・産業界への展開・使用を促進

することで、情報セキュリティ人材の育成に貢献する。2022年度も引き続き情報系大学における講義カリキュラム指標であるJ17との連携とASEANを中心とした海外教育機関との連携によるセキュリティ人材育成への貢献を目指す。

さらに、継続して講師データベースへの登録講師や講師予備軍の若手による講義・勉強会の開催等、教える場の提供を支援することにより、JNSA教育部会メンバーのスキル向上を目指す。加えてセキュリティコンテンツとは異なる新たな実践教育ツールの開発や検証に対しても検討を行う。

SecBoK2022更新版の展開、およびSecBoK2023改定委員会活動を実施し、使用事例などを盛り込んだ利用ガイド版作成などの活動を実施。

また、JNSAが、「辻井重男セキュリティ論文賞」の構成団体の1組織として、教育部会が代表して、運営委員会委員および査読委員として参画している。運営委員及び査読委員については、毎年複数名にご協力を頂いている。この活動は、若手セキュリティ研究者支援及び育成の一環として実施している。

<予定成果物>

- SecBoK改定委員会 | SecBoK2023
- 辻井論文賞関連 | 表彰論文の選定、および講評など

【ゲーム教育WG】

(リーダー:長谷川長一 氏/株式会社ラック)

ゲームやその要素(ゲーミフィケーション)を活用した教育のコンテンツやカリキュラムの開発と実施、さらに実施結果の評価や振り返りを行う。実施に際しては、WG内でのゲーム教育のファシリテーターの育成と維持、そのための機会(イベント、演習授業等)創出、学校(大学や高専等)への講師派遣、プロモーション活動を行う。

<予定成果物>

- 「MalwareContainment」オンライン版、ファシリテーション資料類

【情報セキュリティ教育実証WG】

(リーダー:垣内由梨香 氏/

日本マイクロソフト株式会社)

情報セキュリティを教えることが出来る高度なスキルをもった人材を育成するために、実践での大学などで

の講義を通じて、実践力とハイレベルスキルの習得を目的とする。

また作成した成果物(講義コンテンツ)のJNSA会員企業への共有と他の学校関連や団体への展開を計画している。

<予定成果物>

- 情報セキュリティ講義の講義資料
- 中小企業向け情報セキュリティ講義の講義資料
- クラウドサービス セキュリティ 講義の演習

【セキユ女WG】

(リーダー:北澤麻理子 氏/

エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社)

会社の枠を超えた連携を可能にし、女性セキュリティエキスパートの交流場所を提供する。また、セキュリティに関する専門スキルを持ちたい女性を応援するための活動を行う。

以下のような過去の活動に基づき、勉強会、会合を継続する。

- 女性のキャリア形成や仕事の進め方など、相談ができる場を提供
- 守秘義務を守りつつ、業務で得た疑問の話し合い、他社の事例を紹介しあう場の提供
- セキュリティの仕事は幅広のため、他の人が従事している業務を知る機会を提供
- 仕事、育児、介護、自身の自由時間をどのようにマネジメントするかTipsを得るためのタイムマネジメントの情報交換を実施
- プレゼン経験を積むため全員がプレゼンターとなり、参加者全員からフィードバックをもらう会を実施
- ワーキンググループメンバーが講師の勉強会を開催
- 外部有識者の講演会を主催

5. 会員交流部会

部会長:扇健一 氏/株式会社日立ソリューションズ

情報セキュリティ業界における健全な発展と貢献のため、会員向けのサービスとユーザ向けのサービスをマーケティング部会と連携しながら拡充させる。

特にソリューションガイドサービスについては、ユーザ、会員ともに利用しやすい環境とするための改修を行う。またセキュリティ理解度チェックについても利用者の増加に伴い、安定的に運用可能な環境の整備強

化を検討する。

なお、会員向けの説明会や政府統一基準群の改定予定を受けた各種ガイドライン等の勉強会、また紐づけについては継続的に実施する。

【セキュリティ理解度チェックWG】

(リーダー：西浦真一 氏／

キヤノンマーケティングジャパン株式会社)

理解度チェックの継続的な問題の見直しを行うと共に、プレミアム版(有料サービス)のユーザ数増加に向けた対外活動を実施する。プレミアム版の利用者の増加に伴い、安定的に運用可能な環境の整備強化を検討する。

<予定成果物>

- 理解度チェック新規問題作成・問題やカテゴリの改修

【JNSAソリューションガイド活用WG】

(リーダー：秋山貴彦 氏／株式会社アズジェント)

年間の活動を通じて会員企業自身のPRとその企業が有しているソリューションのPRを図る。

社会活動部会や中小企業支援施策WGと協力して、サービスの改修を検討する。

<予定成果物>

- JNSA内の他部会/WGが作成した成果物とソリューションガイドとの連携
- 関係諸団体が作成した各種ガイドラインとソリューションガイドの連携
- 関係諸団体が有しているWeb内でのバナー掲載促進

6. マーケティング部会

部会長：小屋晋吾 氏／ニュートラル株式会社

副部会長：持田啓司 氏／株式会社ラック

JNSAの認知度向上やWG成果物の普及促進を目的とした活動を行うとともに、会員企業を獲得するための施策を立案、実行する。

<予定成果物>

- 全セキュリティお仕事紹介ビデオ
- 全国セミナーの開催

7. 事業コンプライアンス部会

部会長：西本逸郎 氏／株式会社ラック

サイバーセキュリティサービスの提供者が、ネットワーク社会、サービスを楽しむお客様、そしてサービス従事者として自らを守るために、適正なセキュリティサービス事業遂行の在り方について検討する。

2019年に本部会で策定した「サイバーセキュリティ業務における倫理行動宣言」の運用を軸に、各WGで活動を行う。

【企画WG】

(リーダー：唐沢勇輔 氏／

Japan Digital Design 株式会社)

本部会の企画検討や外部機関とのPoCを担う。また、賛同企業の募集など、部会全体の取り組みに関する企画運営を行う。また、昨年度調査WGで行っていた海外事例調査なども必要に応じて実施。

<予定成果物>

- 法令改正の提案書

【法令リスク研究WG】

(リーダー：田原祐介 氏／株式会社ラック)

サイバーセキュリティ業務の法令リスク一覧を作成するとともに、国内における事例研究を行う。

どういった業務に、リスクがあるかを具体的に参照できる資料の完成を目指す。

<予定成果物>

- 法令リスク研究一覧

8. 西日本支部

支部長：元持哲郎 氏／アイネット・システムズ株式会社

西日本に拠点を置くメンバー企業を中心となり、提携団体との協働の下、西日本のネットワーク社会におけるセキュリティレベルの維持・向上に資すると共に、産官共同して、IT利活用の実現・推進のため、西日本に集積する中小企業がリスクの変化に応じた機動的な対応を行うことができる機会づくりを支援する。

また、西日本支部が主催となる「NSF 2022 in Kansai」を5月13日に開催。大阪商工会議所の協力の元、会場とオンライン併用で開催。

【今すぐ実践できる工場セキュリティ対策のポイント検討WG】

(リーダー: 岡本登 氏/富士通株式会社)

現場実態を考慮したセキュリティ対策の考え方や新たなサイバー対応BCP策定に必要な観点などを整理し、中堅・中小製造現場のセキュリティ向上を支援することを目的とする。

<予定成果物>

- リスクアセスメントハンドブック
- セキュリティ対策ハンドブック
- サイバー対応BCP策定ハンドブック

9. U40部会

部会長: 杉野広典 氏/

NECネクサソリューションズ株式会社

若年層を対象メンバーとして、JNSAの若返り、若年層の活動活発化、幅広い人脈形成を目的として勉強会を中心とした活動を行う。

【for Rookies WG】

(リーダー: 奥澤美穂 氏/株式会社Speee)

セキュリティ関連業務経験3年未満を対象とし、若手をはじめとした人的ネットワークの形成および知識向上を目的とする。「いまさら聞けない相談事」を主に参加者が講師を担当などアクティブラーニング形式で行う。

【勉強会企画検討WG】

(リーダー: 永塚遼 氏/SCSK株式会社)

U40部会員の知識・スキル向上を目指し、勉強会を企画・開催する。内容によってはJNSA会員からも広く勉強会参加者を募り、部会員同士・JNSA会員・外部講師との人脈形成を行う。

【Inside IT WG】

(リーダー: 羽鶴颯 氏/

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー)

ITの基礎技術を初歩の初歩から学べるワークショップを国内各地で開催し、IT業界全体の知識・技術力の底上げを目的とした活動を行う。ワークショップの対象は、大学生～新卒2年目までの若手を中心とし

て、理系文系関係なくITについて学び直したいと考えている個人で、年齢所属に関係なく幅広い層を想定している。

開催は、土曜日、日曜日、祝日などの休日の午後を利用し、講師は、ワーキンググループ参加メンバーが行う予定。

10. 情報セキュリティ教育事業者連絡会 (ISEPA)

代表: 持田啓司 氏/株式会社ラック

事業者間の連携や情報交換による業界活性化のための活動を行う。また、政府機関への政策提言や政策実現のための適切な事業者紹介を行う。

<予定成果物>

- セキュリティ関連スタッフ調査報告書
- 教育コースのSecBoK対応マップ
- スキル認定ガイドライン (バージョンアップ)

11. 日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)

代表: 武智洋 氏/日本電気株式会社

セキュリティオペレーション技術向上、オペレータ人材育成、および関係する組織・団体間の連携を推進する事業を実施することによって、セキュリティオペレーションサービスの普及とサービスレベルの向上を促し、安全で安心して利用できるIT環境実現に向けて寄与することを目的とする。

<新技術とオペレーションPj: 年間活動予定>

- 新技術とオペレーションPj
各種技術トピックとセキュリティオペレーションに対する影響の調査
- TS1 (セキュリティサービス認定検討タスクフォース)
各種問い合わせ対応 (当初の目的を果たしたため本TFは終了の意向)

【セキュリティオペレーションガイドラインWG】

(リーダー: 上野宣 氏/株式会社トライコーダ)

要求にマッチしたセキュリティ診断サービスを的確に効率よく選択できるように、ユーザ向けセキュリティ診断サービスの解説書を作成する。セキュリティ診断サービスを向上するために、サービスを提供している技

術者のレベルを計ることが可能な指標について検討する。

【セキュリティオペレーション技術WG】

(リーダー:川口洋 氏/株式会社川口設計)

最新の技術動向を調査し、最適なセキュリティオペレーション技術を探究し、技術者の交流を図る。

【セキュリティオペレーション認知向上・普及啓発WG】

(リーダー:阿部慎司 氏/

GMOサイバーセキュリティbyイエラエ株式会社)

セキュリティオペレーションの必要性についての認知度向上を目的とし、普及啓発活動を行う。

【セキュリティオペレーション連携WG】

(リーダー:武井滋紀 氏/

NTTテクノクロス株式会社)

セキュリティオペレーション事業者間の共通の課題の認識および、課題の対応や対処について検討を行い、必要に応じて成果物を外部への公開を行う。

<予定成果物>

- 各所での発表資料、JNSA全国セミナー発表資料

12. 日本トラストテクノロジー協議会 (JT2A)

運営委員長:小川博久 氏 (株式会社三菱総合研究所)

電子署名や電子認証など含むトラストテクノロジーに関連する事業者及び利用者が主体となり、産学官及び国内外の関連団体と連携して信頼性を担保するための技術等の検討を行い、より信頼できる電子社会の促進に寄与する。

<予定成果物>

- リモート署名ガイドラインの改訂 (リモート署名TF)
- 欧州(eKYC/eIDAS関連)のリモートにおける本人確認事例の調査概要
- セミナー等での講演資料

13. 産学情報セキュリティ人材育成検討会

座長:江崎浩 氏/東京大学 大学院

情報セキュリティ業界での就労体験の機会提供を目的に、引き続きJNSAインターンシップの推進支援

を実施する。学生と企業間の意見交換・交流のための「JNSAインターンシップ交流会」については、昨年度はコロナ禍の合間となった11月末開催としたが、本年は開催方法と実施時期を改めて検討する。

14. SECCON実行委員会

実行委員長:花田智洋 氏/

国立研究開発法人情報通信研究機構

副実行委員長:寺島崇幸 氏/株式会社ディアイティ

例年通り、情報セキュリティ人材の発掘・育成と国内の情報セキュリティレベルの底上げを図り、年間を通して活動を行う。

イベントは、昨年同様にSECCON CTF、電腦会議、ワークショップ、CTF Beginners、CTF for Girlsを実施するとともに、今年度は、地方での開催(2~4か所)も再開する。なお、新型コロナウイルス感染状況によるが、オフラインとオンラインを併用したハイブリッド開催を計画している。活動予算については、今年度協賛企業の協賛金を充当する予定。協賛金収入の目標は前年度21年度並みを目標とする。

14. サイバーセキュリティ産学連携推進協議会

会長:田中英彦 氏/

特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会
ステアリングコミティチュア:大塚玲 氏/

情報セキュリティ大学院大学

事務局長:橋本正樹 氏/情報セキュリティ大学院大学

2021年8月より設立準備会を発足し、検討してきたサイバーセキュリティ分野における産学連携活動について、本年3月に理事会にて承認されたため、「サイバーセキュリティ連携推進協議会」として、2022年度より活動を開始する。

本年度の主な活動は、産学連携を推進するために我が国のサイバーセキュリティ分野に関する研究の実態、産業界のニーズ・課題、連携に係る課題などを調査し、産学連携を推進するための方策について検討する。

なお、これらを推進するために、JNSA会員企業の積極的な参加を募り、また、「学」においても参加組織や研究者等の参加を促す。

会 長 田中 英彦 (情報セキュリティ大学院大学 名誉教授
東京大学 名誉教授)
副会長 高橋 正和 (株式会社Preferred Networks)
副会長 中尾 康二 (国立研究開発法人情報通信研究機構)

理 事 (50音順)

青嶋 信仁 (株式会社デアイティ)
天野 隆 (東芝デジタルソリューションズ株式会社)
新井 一人 (トレンドマイクロ株式会社)
伊藤 新 (エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社)
井上 統之 (KDDI株式会社)
梅野 寛 (大日本印刷株式会社)
河内 清人 (三菱電機株式会社)
河野 省二 (日本マイクロソフト株式会社)
後藤 忍 (セコムトラストシステムズ株式会社)
小屋 晋吾 (ニュートラル株式会社)
齋木 啓 (日鉄ソリューションズ株式会社)
櫻井 秀光 (Musarubra Japan 株式会社)
西本 逸郎 (株式会社ラック)
本城 啓史 (株式会社エヌ・ティ・ティ・データ)
丸山 司郎 (株式会社FFRIセキュリティ)
三膳 孝通 (株式会社インターネットイニシアティブ)
八束 啓文 (RSA Security Japan合同会社)
山口 政博 (ユニアデックス株式会社)
与儀 大輔 (グローバルセキュリティエキスパート株式会社)

幹 事 (50音順)

秋葉 淳哉 (エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社)
有松 龍彦 (株式会社インフォセック)
伊藤 昇 (グローバルセキュリティエキスパート株式会社)
岡庭 素之 (キヤノンITソリューションズ株式会社)
垣内 由梨香 (日本マイクロソフト株式会社)
香取 弘徳 (株式会社フーバーブレイン)
北澤 麻理子 (エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社)
倉持 浩明 (株式会社ラック)
木村 滋 (シスコシステムズ合同会社)
後藤 忍 (セコムトラストシステムズ株式会社)
駒瀬 彰彦 (株式会社アズジェント)
佐藤 健 (NRIセキュアテクノロジーズ株式会社)
佐藤 俊介 (大日本印刷株式会社)
下村 正洋 (NPO日本ネットワークセキュリティ協会)
鈴木 英樹 (株式会社OSK)

関場 哲也 (株式会社カスペルスキー)
高橋 正和 (株式会社Preferred Networks)
辻 秀典 (ネットワンシステムズ株式会社)
能勢 健一朗 (東芝デジタルソリューションズ株式会社)
野間 祐介 (株式会社インターネットイニシアティブ)
日向 亨 (トレンドマイクロ株式会社)
平山 敏弘 (学校法人電子学園)
二木 真明 (アルテア・セキュリティ・コンサルティング)
前田 典彦 (株式会社FFRIセキュリティ)
三池 聖史 (ユニアデックス株式会社)
本川 祐治 (株式会社日立システムズ)
元持 哲郎 (アイネット・システムズ株式会社)
矢野 由紀子 (日本電気株式会社)

監 事

野村 文雄 (野村公認会計士事務所|イースト国際税理士法人)

顧 問

今井 秀樹 (東京大学 名誉教授)
金子 啓子
佐々木良一 (東京電機大学名誉教授|サイバーセキュリティ
研究所客員教授)
武藤 佳恭 (慶應義塾大学 教授)
手塚 悟 (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)
前川 徹 (東京通信大学情報マネジメント学部 教授)
森山 裕紀子 (早稲田リーガルコモンズ法律事務所 弁護士)
大和 敏彦 (株式会社アイティアイ)
吉田 眞 (東京大学 名誉教授)

JNSAフェロー

井上 陽一
大和 敏彦 (JNSA顧問/株式会社アイティアイ)

事務局長

下村 正洋

【あ】

RSA Security Japan(同)
 (株)RSコネク
 あいおいニッセイ同和損害保険(株)
 (株)アイネス総合研究所 **New**
 アイネット・システムズ(株)
 (株)アイピーキューブ
 アイマトリックス(株)
 アイレット(株)
 アクセンチュア(株)
 アクモス(株)
 (株)アシスト
 (株)AGEST
 (株)アズジェント
 (株)アスタリスク・リサーチ
 アドソル日進(株)
 アドビ(株)
 アビームコンサルティング(株)
 (株)アピリッツ
 アマゾン ウェブ サービス ジャパン(株)
 (株)網屋
 アラクサラネットワークス(株)
 アルテア・セキュリティ・コンサルティング
 (株)アルテミス
 アルプスシステムインテグレーション(株)
 (株)アレクソン **New**
 アンテナハウス(株)
 EY新日本有限責任監査法人
 EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)
 イオンアイビス(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 学校法人 岩崎学園
 (株)インターネットイニシアティブ
 インターネット セキュア サービス(株) **New**
 (株)インテック
 インフォサイエンス(株)
 (株)インフォセック
 Woven Planet Holdings, Inc.
 Utimaco IS GmbH
 (株)エーアイセキュリティラボ
 AOSデータ(株)
 エスアイエス・テクノサービス(株) **New**
 SCSK(株)
 SGシステム(株)
 SBテクノロジー(株)
 NRIセキュアテクノロジーズ(株)
 NECソリューションイノベータ(株)

NECネクサソリューションズ(株)
 NECプラットフォームズ(株)
 エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー(株)
 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)
 エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
 NTTセキュリティ・ジャパン(株)
 (株)エヌ・ティ・ティ・データ
 エヌ・ティ・ティ・データ先端技術(株)
 NTTテクノクロス(株)
 NTTビジネスソリューションズ(株)
 (株)FFRIセキュリティ
 エムオーテックス(株)
 (株)エムティーアイ
 (株)OSK
 (株)大塚商会
 岡三情報システム(株)
 沖電気工業(株)
 ONWARD SECURITY JAPAN(株)

【か】

(株)カスベルスキー
 学校法人 片柳学園
 兼松エレクトロニクス(株)
 キヤノンITソリューションズ(株)
 キヤノンマーケティングジャパン(株)
 (株)クエスト
 (株)クレスコ・デジタルテクノロジーズ
 グローバルセキュリティエキスパート(株)
 xID(株)
 (株)km2y
 KDDI(株)
 KDDIデジタルセキュリティ(株)
 (株)KPMG FAS
 KPMGコンサルティング(株)
 コインチェック(株)
 興安計装(株)
 (株)構造計画研究所 **New**
 (株)神戸デジタル・ラボ
 (株)コスモス・コーポレイション
 コニカミノルタ(株)
 CompTIA日本支局 **New**

【さ】

サービス&セキュリティ(株)
 ServiceNow Japan(同)
 サイエンスパーク(株)
 CyberArk Software(株) **New**

(株)サイバーエージェント
 (株)サイバージムジャパン
 (株)サイバーセキュリティクラウド
 サイバー・ソリューション(株)
 (株)サイバーディフェンス研究所
 サイバーリーズン(同) **New**
 サイボウズ(株)
 (株)さくらケーシーエス
 Sansan(株)
 GMOグローバルサイン(株)
 GMOグローバルサイン・ホールディングス(株)
 GMOサイバーセキュリティ byイェラエ(株)
 ジーブレイン(株)
 ジェイズ・コミュニケーション(株)
 (株)JSOL
 JBサービス(株)
 JBCC(株)
 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター
 シスコシステムズ(同)
 システム・エンジニアリング・ハウス(株)
 シナック
 (株)SHIFT
 Japan Digital Design(株)
 情報セキュリティ(株)
 (株)信興テクノミスト
 ステラサイバー
 ストーンビートセキュリティ(株)
 (株)Speee
 (株)スリーシェイク **New**
 セイコーソリューションズ(株)
 セイルポイントテクノロジーズジャパン(同)
 (株)セキュアサイクル
 (株)セキュアスカイ・テクノロジー
 セキュアワークス(株)
 セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン
 セコム(株)
 セコムトラストシステムズ(株)
 Zホールディングス(株) **New**
 総合警備保障(株)
 ソースネクスト(株)
 ソニー(株)
 (株)ソフトクリエイト **New**
 ソフトバンク(株)
 (株)ソリトンシステムズ
 (株)ソルネットシステム
 SOMPOリスクマネジメント(株)

【た】

大興電子通信(株)
 大日本印刷(株)

(株)ダイレクトクラウド
 (株)大和総研
 高砂熱学工業(株)
 (株)宝情報
 タレスDISジャパン(株)
 (株)中電シーティーアイ
 中部テレコミュニケーション(株)
 (株)ChillStack
 都築電気(株)
 TIS(株)
 (株)デアアイティ
 DBJデジタルソリューションズ(株)
 テクマトリックス(株)
 デジサート・ジャパン(同)
 デジタルアーツ(株)
 鉄道情報システム(株)
 Tenable Network Security Japan(株)
 デロイト トーマツサイバー(同)
 学校法人電子学園
 (株)電通国際情報サービス
 東京海上ディーアール(株)
 (株)東芝
 東芝ITサービス(株)
 東芝デジタルソリューションズ(株)
 凸版印刷(株)
 (株)TRUSTDOCK
 トランスコスモス(株)
 トレノケート(株)
 トレンドマイクロ(株)

【な】

(株)ナノオプト・メディア
 日鉄ソリューションズ(株)
 日本アイ・ビー・エム(株)
 日本オラクル(株)
 日本企画(株)
 日本シノプシス(同)
 一般財団法人日本情報経済社会推進協会
 日本情報通信(株) **New**
 (株)日本総合研究所
 日本電気(株)
 日本電信電話(株)
 日本ビジネスシステムズ(株)
 日本マイクロソフト(株)
 ニュートラル(株)
 ニューリジェンセキュリティ(株) **New**
 ネットワンシステムズ(株)

【は】

パーソルクロステクノロジー(株)
 パーソルプロセス&テクノロジー(株)
 (株)パイオリンク
 (株)パソナ
 パナソニック(株)
 パロアルトネットワークス(株)
 ぴあ(株)
 (株)PFU
 PwCコンサルティング(同)
 東日本電信電話(株)
 (株)日立システムズ
 (株)日立製作所
 (株)日立ソリューションズ
 (株)日立ソリューションズ・クリエイト
 飛天ジャパン(株)
 BIPROGY(株)
 (株)ファインデックス
 (株)フォーバーブレイン
 フォーティネットジャパン(同)
 富士ソフト(株)
 富士通(株)
 (株)富士通エフサス
 富士通クライアントコンピューティング(株)
 富士ファイルシステムズ(株)
 富士ファイルムビジネスイノベーション(株)
 (株)Preferred Networks
 (株)ブロードバンドセキュリティ
 (株)プロット
 (株)ベネッセインフォシエル
 (株)ベリサーブ **New**
 ポールトゥウィン(株) **New**
 北陸通信ネットワーク(株)

【ま】

丸紅情報システムズ(株)
 丸紅ネットワークソリューションズ(株)
 みずほリサーチ&テクノロジーズ(株)
 三井物産セキュアディレクション(株)
 (株)三菱総合研究所
 三菱電機(株)
 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
 三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
 三菱電機ソフトウェア(株)
 Musarubra Japan(株)
 (株)mediba
 Modis(株)

【や】

(株)ユーザベース **New**
 (株)ユービーセキュア
 ユニアデックス(株)
 (株)横浜銀行 **New**
 (株)YONA

【ら】

楽天グループ(株)
 (株)ラック
 Rapid7 Japan(株)
 (有)ラング・エッジ
 (株)ranryu **New**
 (株)リクルート
 リコージャパン(株)
 (株)両備システムズ
 (株)LainZ
 (株)レオンテクノロジー
 (有)ロボック

【わ】

(株)ワイズ

【特別会員】

一般社団法人 IIoT
 (ISC)² Japan
 大阪商工会議所
 一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター
 ジャパン データ ストレージ フォーラム
 一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会
 国立研究開発法人情報通信研究機構
 一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会
 データベース・セキュリティ・コンソーシアム
 一般社団法人 ソフトウェア協会
 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会
 電子商取引安全技術研究組合
 東京大学大学院 工学系研究科
 長崎県立大学情報システム学部情報セキュリティ学科
 一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
 一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス
 一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会
 一般財団法人 日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会
 特定非営利活動法人日本システム監査人協会
 特定非営利活動法人 日本情報技術取引所
 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
 特定非営利活動法人日本セキュリティ監査協会

他2社